

ゆとりや潤い、 心の豊かさが実感できる村づくり

もっと素敵な未来を創りたい。

ふるさと大信村のキャンパスには、たくさんの夢が描かれています。



水持ちの悪き田の畔厚く塗る
夫は折々立ち休みして
(NHK学園通信講座作品コンクール
短歌部門 秀作)



塩田 スイ子さん

(大信村短歌会)

短歌会は発足して9年。会員18名が集まり、月に一度の勉強会をしています。テーマは自由で、他の西白河郡町村との交流会の輪も広がっています。何気ない日常を文字にするのが短歌の魅力でもあり、難しいところ。村の道路を歩いてふと感じた村の美しい自然や、農作業で汗を流す主人の姿などから歌を詠んだりしています。



みんなが助け合う、
まとまりのある村に
していきたいですね。

芳賀 敏子さん

(大信村婦人会 会長)

夏祭りのフリーマーケット、隈戸川音頭の継承保存、料理教室、テーブルマナーなどさまざまな活動を通して会員女性200名の輪が広がっています。これからのテーマは、定年を迎えても女性が十分に活躍する環境です。子育てひとつとっても、自分の子どもだけではなく、地域で親睦を図っていけるような村になれば素晴らしいですね。

佐藤 忠さん

(大信村商工会 会長)

大信村をみんなで盛り上げようと「特産品直売所」の設立に向けて現在構想が進行中です。また、平成14年からはおおむね60歳以上の方々が長年培ってきた経験と能力を生かして地域に貢献する「シルバー人材センター」を立ち上げる予定で、家事や農作業の手伝い、介護補助といった幅広いニーズに応じていきます。行政をはじめ、たくさんの人たちの協力を得て、活力ある地域社会づくりを図っていききたいですね。



手と手でつなぐ人の輪で、
明るい大信村を
築きたい。



大竹 史恵さん

(TYC(たいしんユースクラブ))

大信村や近隣の若者20名が集まって、キャンプや料理、スキー教室など1年を通してワイワイがやがや楽しく活動しています。夏祭りでは、募集ポスターを制作、金魚すくいや、わたアメコーナーでたくさんの子供たちを呼ぶことができました。県の研修会などにも参加して、新しい交流も生まれています。これからはボランティア活動もしてみたいな。